

リニア中央新幹線に係る 妻籠水道水源に関する説明会が開催される

JR東海主催による妻籠水道水源に関する説明会が、平成30年8月31日に南木曾会館で開催されました。

今回の説明会では、平成30年3月27日に長野県知事よりJR東海に対して、「水道水源保全地区内行為事前協議に対する知事同意」が回答されたことを受け、同意に付された条件を改めて確認するとともに、今後の予定について説明がありました。概要は次のとおりです。

JR東海からの説明

①同意に付された条件について約束 今回の説明会で、同意に付された条件について確認し、JR東海が責任を持って対応していくことを、改めて住民に約束しました。

※同意に付された条件につきましては、広報なぎそ8月号をご覧ください。ただ、南木曾町ホームページをご覧ください。

②今後の予定

長野県知事から示された条件を受け、新たに浅い地下水（水道水源の水と想定される水）と深い地下水（トンネルの深さの水）の観測井2ヶ所の設置を行い、平成31年春頃から、水位の変化等について調査を行う旨の説明がありました。また、代替水源の確保や文書による確認についても、町と協議していくという説明がありました。

質疑応答

JR東海の説明後には、住民から多数の質問や要望が出されました。主な内容は以下のとおりです。

Q 万が一の時の対応について、どう考えているのか。

（一部抜粋）

A 対応方法については町と協議中ですが、水量だけでなく水質についても日常生活に影響が出ないようJR東海が責任を持って対応していきます。

Q 妻籠水道水源のみでなく、向ヶ原水源及び大山区水源についても対応願いたい。

A 今回は妻籠水道水源に係る説明会ですが、その他水源についても町と協議していきます。

Q 文書での確認や協定を締結する際には、結果だけ知らせるのではなく、中間報告を行ってほしい。

A お知らせの方法やタイミングについては、町と相談しながら進めていきます。

住民の皆さんから出された意見を重視して、引き続き南木曾町リニア中央新幹線対策協議会を開催し、知事同意条件の実行と協定書・確認書の締結、向ヶ原と大山区水道水源の保全について、JR東海と協議していきます。



説明会の様子